

「心は熱く、頭は冷静に」がモットー 介護事業者と高齢者を全力で支える

株式会社 Sea Four 訪問介護ステーション 湊

熊本県熊本市北区鶴羽田1丁目11-33 サンビレッジ長田Ⅱ 102号

介護事業のコンサルティングと入居者の紹介、『訪問介護ステーション 湊』の運営などを手掛ける『Sea Four』。看護師でもある川添社長は今も経営の傍ら現場に立って利用者に寄り添い、スタッフを鼓舞する。本日は俳優の大沢樹生氏が訪問。社長にインタビューを行った。



interviewer
大沢 樹生



代表取締役
川添 好史



——川添社長のご出身はどちらですか。

長崎の五島列島です。地元の高校を卒業後、おばを頼って熊本に出てきて、経理の専門学校で学びました。その後は一般企業に就職して営業事務に従事していたのですが、看護師の友達を見ていて、自分も資格を身につけて人のためになる仕事がしたいと思うようになったんです。それで働きながら看護学校で5年間学び、精神病院の看護師として10年勤務しました。

——篤実な方でいらっしゃる。そこから介護の世界に転身されたのは何故？

看護師になって10年経った時、精神科領域は医療の進歩もあって入院患者が減り、外来重視の風潮が強くなっていることを実感。その一方で、今後はますます高齢化が進み、介護のニーズが高くなると思ったんです。培った経験を活かしてお役に立ちたいと、介護業界への転身を決断したのが35歳の時でした。

——実際に介護業界に入られてみていかがでしたか。

看護師は医師の指示で動きますが、介護は自分で、考え、行動しないといけないことが多く、やり甲斐は大きいですね。また、介護保険が関わるので数字を見ることも必要。理想だけではビジネスは出来ません。経理業務の経験もありますか

ら、そこも面白いところでしたね。

——なるほど。お勤めのころから、独立心はお持ちだったのでしょうか。

そうですね。実家は裕福ではなかったので、親孝行もしたいし、自分の子どもにも何と不自由な生活を送ってもらいたくない。将来、子どもたちが働く場がなければ、その場を残してあげたいという思いもあって独立を考えていました。

——実際に独立されたのはいつですか。

独立したのは前勤務先を辞めて今年の3月なので、ようやく1年経ったところです。現在は介護事業のコンサルティングと入居者の紹介、訪問介護ステーションの運営を手掛けており、お陰様で軌道に乗せることができています。

——好調なご様子で何よりです。社長ご自身が現場に出られることも？

はい。私は主にコンサルをメインにしていますが、長く現場を離れると看護師として勘が鈍ってしまうので、意識して現場に出るようにしています。現場では直接「ありがとう」という声が聞けるので、励みや癒やしになりますね。現場でも、コンサルでも常に大切にしているのは、「心は熱く、頭は冷静に」ということです。コンサルは何より結果が求められる仕事なので、極端な話、やり過ぎるぐらいにやるのが肝要。自社の利益

よりも、お客様に利益をもたらすことを重視しています。また、弊社においては少数精鋭、分業制が基本。そして利用者さんには人生の先輩として敬意を払い、サービス業である意識をもって仕事をするようにと指導しています。

——素晴らしい姿勢です。最後にこれからの展望を伺います。

新事業として有料老人ホームを立ち上げることで、そして飲食業に参入し、居酒屋を手掛けることを来期の目標にしています。何事も一歩踏み出さないと始まりません。勇気を持ってチャレンジし続けていきたいですね。

(2021年4月取材)



「経理から看護師、介護の業界へと転身を遂げてこられた川添社長。方向転換には勇気が必要ですが、その時々で将来を見据えながら選択された決断力、行動力が素晴らしいと思いました！ 今後のご活躍が楽しみです」 大沢 樹生・談